

43 回展 改善事項等アンケート より

1、役割分担

- ① 事業部の事前準備のお陰で全体的にスムーズに運営出来た。(多数)
- ② 休養日を設けたことは有効的だった。
- ③ 役割を平均化することは理想ですが、家庭の事情などで出られないことを考慮してほしい。
- ④ その他(サポーター制、ポストカード担当は応援が必要…など)

委員巡回について

①巡回システムは大半が「良かった」と回答。②コミュニケーションの良い方法。他会派にはない。

改善点として

- ① 会場係等、支部応援にも限界があるので委員による巡回で対応できないか。
- ② 委員による巡回があれば、会場係は必要ない。(工芸は別)
- ③ 作品保存と作品の質問応対を同一人でやれるか。(巡回時の内容を定めるとやりやすい)
- ④ 会場係を廃止したとして、委員巡回の工夫が必要。等々の意見あり。 それに対し以下の意見も。
- ⑤ 時間にゆとりのある人がやる前提ではないか。回数が多く慌ただしく体力的等で出来ない人続出。
肝心のコミュニケーションは、作者ではなく来場者相手に「雑談」か嫌がられるかで難しい。
今回の成果と支障を精査し、支障が勝るなら時間や回数の見直しを。

2、搬入

概ね順調。スムーズに行った。 受付時のチェックの徹底などの意見あり(別紙参照)

3、審査

- ① 今期審査員との意見交換などにより要改善事項あれば検討していかなければならない。
- ② 本当の実力に(対する評価か)やや疑問を感じる。入賞作品の中でどう見ても納得できない作品が数点あった。もう少し真剣に判断してほしい。
- ③ 何でも入選させるのでなく、レベルを考慮してほしい。
- ④ 毎年同じような作品が受賞するのは何故?
- ⑤ 無難な作品の受賞が多い。タッチや独自性も注目してほしい。
- ⑥ 佳作賞などの審査で、より厳正な審査が必要。
- ⑦ 意外性や将来性ある作品なども考慮して手を挙げたが、結局多数決で無難な作品が選ばれた。
準会員が大きな賞に入ったのは今回の成果だったが、一般会員の大作の作品減少や作品の質の低下もあり、選択肢が少ないため、結果的に「毎年同じ人ばかり」と言われても仕方がない。
- ⑧ 一次審査で高得点が二次審査で得点が低い問題。二次審査では複数の高得点の作品群の中での評価なのだからあり得るし問題ない。
- ⑨ 工芸…部外審査員を。審査員3名は少ない。賞の「該当者なし」は絵画へ。(受賞率の改善に)
- ⑩ その他・代表枠での賞を。・押しボタン式は? 公平な審査期待できる。・下位賞決定に時間がかかりすぎる。・小品展はもっと賞があっても良い。・審査員の座席を毎年変えては? ・事務局が審査に関わるのはいかがか? ・外部審査員が途中でいなくなった! ・2次審査カードに過去歴を。
- ⑪ 審査関係の進行などは事前準備があれば、順調だった、問題なしの意見多し。

4、展示

- ① 昨年より展示数が減少しているのも関わらず全く感じさせない良い展示だった。良かった（多数）
- ② 上位入賞者の各部屋分散は難しい面もあるが「見映え」を考えると実行する価値あり。
- ③ 一室が審査員で埋められた。作品の立派さは分かるが分散展示は委員作品中心に。上位受賞者は1室、2室でスポットライトを。
- ④ 小品部門力作ぞろい。その分大作の減少が強調された。
- ⑤ 作品の一般応募が減少し、小作品応募が増えた。要因を分析、対応を。
- ⑥ キャプションに（油彩）（水彩）などを入れたのは良かった。
- ⑦ キャプション落下あり。（引っ付きむしの使い方徹底を）
- ⑧ **その他** ・仕切りの移動（8室拡大、9室縮小など）7、8室の仕切りを取るなども考えたい。
・2室に100号程度の作品を。物足りなかった。展示段階での最終確認が必要。
小品部門は鑑賞者に分かりやすいようキャプションに「〇〇号」記載など工夫を。
工芸…配置・色合いのバランスが良かった。

5、ギャラリートーク

- ① 芳賀先生のギャラリートークは毎年好評、新日美には不可欠なもの。
- ② 一人一人への丁寧な説明はありがたいが、時間配分も考えて。（担当委員の采配を）
- ③ 委員が2、3名で対話しながらのギャラリートークもよいのでは？
- ④ たまには中野先生のトークも聞きたい。

6、ワークショップ（全体）

- ① 3種とも、大変好評で、大盛況でした。
- ② 担当を置くべき。居合わせたもので椅子などを準備するのはいかがか。
- ③ 特徴ある新日美展として定着しつつあり今後、広報に力を入れる。

7、写真・図録

- ① 短時間での作成だったがエラーもなく良い図録ができた。
- ② 写真は年々良くなっている。
- ③ 昨年も述べたが、縮尺率について、大作の会員・準会員・会友・一般までを少し大きくする等小作品との差は必要。（費用は同じ、との不公平感が残ると思うが…）

8、事務処理

- ① 極めて順調だった。後進の育成として、事務処理のできる人材を育成する必要がある。
- ② 入選後、昇格当該者から「上から目線での交付とを感じる」とのFAXあり。要文言。
- ③ 短時間でかつミスが絶対許されない作業（Pカード、図録）は正直限界。作業分離可能か検討。
- ④ 工芸の入力作業、二人体制でないとキケン。
- ⑤ 用品、保管箱の整理を。
- ⑥ 代表、事務局長の担当される事務作業は、何時、何をすることが分かればお手伝い出来ます（石村）

9、その他

- ① 会員については、絵画、工芸の所属に関係なく2点以内の出品としたい。
- ② 財政難のおり、節減項目を洗い出し、2~3年の間期限を切って、会費からの本展出品料を別途徴収とするなどを喫緊の課題として提案したい（事務局長）
- ③ 会員、一般共に大作は無理でも小品なら、という人も多かった。小品部門の宣伝に力を入れたい。
- ④ 一般出品者でも5、6年出し続けたら「努力賞」などを。会員への意欲に繋がるのでは。
- ⑤ 地方の搬出入費用対策討議の必要あり。（丸めて発送など）
- ⑥ 一般の応募者減少は会の存続に関わる大問題。対策会議を。
- ⑦ 一般の出品者減少の要因を分析すべき。値上げによる影響の有無、収支の分析を。
- ⑧ 財政難の中で、衆・参議院議長賞獲得のために、毎年数十万円を注ぎ込む必要があるのか。
- ⑨ 一般応募が最低5000円で出品できたのに一気に倍以上になった。出品料（8000円）、図録代（3000円）で合計11000円。再検討が必要かと。
- ⑩ 新日美展の1週間後が台風10号だった。その期間に開催の他団体の様子では、当日と翌日に美術館は閉館とのこと。会期をリスクの比較的少ない11月に移せないか。最終日や搬出日に閉館となった場合、美術館の対応をお聞きしたいものだ。
- ⑪ 工芸の会員、特に一般応募者の作品減少は目に余る。何度も議題になっていたが何ら解決策が見出せないのは問題だ。大きな賞がないから辞めていく、応募しない一般者がいるとすることで、「衆議院議長賞」が事実上割り当てられたのではないのか。原点に戻って 新日美の工芸の定義を決め、外部発信の推進をすべきだ。
- ⑫ いつも同じ人にばかり負担がかかる、との趣旨で会期中に「お休み日」を入れたが結果は？ 平日働いている身としては、土、日、休日の休み返上だった。